

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
荒尾周辺地区

平成22年1月

愛知県東海市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	駅利用の乗降客数	人/日	4,234	4,796	4,746	確定 見込み	△	あり なし	●	4,703	H21年10月	△	<p>地区内のマンション立地立地による人口増加に伴い、H18・H19の乗降客数が大きく増加し、その影響を受け評価値が過大となり、差異が生じた。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>目標値には達しないものの駅前広場整備により利便性が向上し、乗降客数は好調な伸びを示した。また、駅の利便性向上に伴い、周辺地域が魅力的な住宅地に発展し、地区内の人口増加につながった。</p>
指標2	一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	0.29	0.82	0.49	確定 見込み	×	あり なし	●	0.49	H21年5月	×	<p>—</p> <p>□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>当初、整備を予定していた3箇所の公園の内、2箇所の公園が未整備となったこと及び地区内の人口増加が影響し、目標値には達しなかったが、1箇所の公園を整備したこと及び地区内の街路樹整備をしたことにより、まちの魅力は向上している。</p>
指標3	公共下水道区域	ha	4.5	135.5	98.7	確定 見込み	△	あり なし	●	101.9	H21年4月	△	<p>土地区画整理事業区域内において、前倒しで工事が可能となり、追加で約3haの供用が見込めたため、評価値との差異が生じた。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>目標値には達しないものの市全体の整備率48.1%に対し、地区内の整備率は75%まで向上した。まちづくり交付金の投入により、着実に下水道の整備が進み、早期に良好な住環境が形成できた。</p>
指標4	地区内人口	人	6,962	7,572	7,879	確定 見込み	○	あり なし	●	8,009	H21年5月	○	<p>平成11年度から平成19年度までの平年差(98人)をH20.4.1現在の人口に加算した値が評価値として妥当であると判断していたが、評価値算定後に以前から建設中だったマンションが入居時期を迎え、平年差を上回る人口増加(228人)が見込まれたことにより評価値との差異が生じた。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>目標値を大幅に上回る人口増加が見込まれた。土地区画整理事業の順調な進捗及び駅前広場の整備により、まちの魅力が向上し、大規模共同住宅(3件)の立地を始めとする土地利用が推進された。地区内人口が増加し良好な住宅地が形成されている。</p>
指標5	住宅地面積	ha	52.8	55.1	50.5	確定 見込み	×	あり なし	●	50.3	H21年5月	×	<p>H20時点で販売可能な保留地が全部処分でき、住宅地としての土地利用が図られるものと見込み評価値を算出したが、昨今の景気低迷の影響を受け、予定どおりの販売に至らず、評価値との差異が生じた。</p> <p>■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる</p>	<p>目標値には達しないものの店舗等の立地により、まちの魅力、利便性が向上し、良好な住宅地が形成されている。</p>

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	地区内の保留値販売面積の累計	m <sup>2</sup>	9,810	31,608	確定				30,399	H21年4月	H19以前の保留値処分実績(約3,000m <sup>2</sup> 以上)からH20時点で販売可能な保留地(約3,600m <sup>2</sup> )が全部処分できると見込んで評価値を算出したが、昨今の景気低迷の影響を受け、予定どおりの販売に至らなかった。(販売面積2,383m <sup>2</sup> )	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値には達しないもののまちづくり交付金の投入により、土地区画整理事業が順調に進捗し、早期に保留地販売が可能となった。その結果、土地利用が推進され、良好な市街地が形成されている。
その他の数値指標2	町の公園・街路樹などに満足している人の割合	%	56.7	59.4	確定				60.8	H21年5月	アンケート調査であるため、評価値(予測値)と確定値(実績値)に微妙の差が生じた。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	評価値を上回る結果となった。地区内の街路樹整備等により、まちの魅力が向上している。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	・まちの魅力維持・醸成に向けた市民参加の環境づくり	・市民・事業者が自主的に行うアダプトプログラム事業を引き続き実施。	・登録団体の変更(新規参入・辞退)はあったが、登録人員は上昇した。
改善策	・地域の独自性の創出(歴史資源である平洲と大仏を訪ねる花の道の整備)	※1 「平洲と大仏を訪ねる花の道」の関連路線である「平洲の歴史を感じるルート整備」について、ルート設定や整備内容などを検討。 ※2 平洲の歴史を感じるルートの起終点である「平洲記念館」のリニューアル工事。	※1 他部署で実施している「いきいき元気推進事業」とタイアップして歴史資源のPR方策・整備内容を検討している。 ※2 現在、設計作業中(玄関廻りのイメージチェンジ等)
・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・継続した都市基盤整備の推進 ・人口増加に対応した緑の確保(子育て世代向けの良好な居住環境づくり)	※1 土地区画整理事業の継続及び道路整備の実施。 ※2 緑の確保については、平成23年度以降に実施予定。	※1 「平洲と大仏を訪ねる花の道」と「平洲の歴史を感じるルート」の整備推進 ※1 人口の増加に伴い、一人あたりの公園面積が下降傾向にあるため、早期の公園整備を実施する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項